



## 第 87 号

平成 24 年 1 月 1 日  
発行  
本荘由利森林組合  
由利本荘市水林 381  
TEL 0184 24 4141(代)  
FAX 0184 24 4143

木材流通センター 由利本荘市西目町沼田字新道下 1019 1 TEL0184 32 1088 FAX0184 32 1089  
製材工場『木香里』 由利本荘市西目町沼田字新道下 1020 1 TEL0184 32 1080 FAX0184 32 1081

HP <http://www3.ocn.ne.jp/honmori/> メール [honmori@trad.ocn.ne.jp](mailto:honmori@trad.ocn.ne.jp)

新春のお慶びを  
申し上げます



# 森林組合のビジョン構築を目指して



代表理事組合長  
小松 佳和

平成二十四年の新春を迎え、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

また、平素は組合の業務運営全般にわたり組合員はじめ、関係機関の皆様から格別のご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は三月十一日の東日本大震災と原発事故による放射能汚染、大雪や豪雨災害など多難の一年でありました。犠牲になられた方々にお悔やみ申し上げますと共に、被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

また、歴史的円高など民生活に直結する動きが多くありましたが、由利地域はその度合いが強く、大手企業の雇用調整の発表で先行き不安な状況にあります。県、市でも雇用の創出に向けた各種の施策を講じておりますが、安定的な長期雇用には繋がっており、一刻も早い雇用回復に期待をしております。

森林・林業に目を転ずると、一昨年大きく下落した住宅着工数の大幅な回復は難しく、丸太、製品ともに価格は低迷していますが、県内では大型製材工場の建設や集成材工場の国産材利用など、新たな木材需要の増加に期待しながら、供給側である組合としても万全の体制をとってまいります。

管内のスギ人工林の成長量(蓄積)は年間四十二立方メートルにおよび、素材生産量の約五

倍にあたります。国の政策目標である木材自給率五十%を達成するためには生産基盤の拡充と担い手の育成が急務と考えられますが、いまだ手付かずの山林も多く賦存するのが現状で、豊かな森林資源の有効活用を考え、官民一体となった取り組みが必要と見えます。

未整備林の解消と生産量の拡大を目指し取り組んでいる「提案型集約化事業」は、まだまだ始まったばかりではありませんが、森林経営計画の樹立、施業プランナーの育成など課題はありますが、団地化でのコスト削減で組合員の収益増となるよう努力してまいります。

「森林の管理・施業は森林組合が責任を持ってあたる」ことを使命と捉え、林業を産業として確立、発展させるため長期施業受託契約の締結拡大に努め

てまいります。

組合では、県立大等で取り組んでいる木質バイオマス事業へ参画しておりますが、今では燃料、化学など様々な分野で共同研究がされており、これらを含めた森林組合の将来構想を、逐次目に見える形で皆様にお知らせできるようにしてまいります。

役員一体となり組合員皆様や関係機関のご理解を頂きながら、経営基盤の強化と改善に努め、管内林業の振興と発展に邁進する覚悟でございますので、本年も一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますと共に、皆様のご多幸をお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。





理事  
工藤 喜作



理事  
佐藤喜久一郎



副組合長理事  
小番 勲



副組合長理事  
鈴木 充



理事  
畑山 作喜



理事  
佐々木幸一郎



理事  
初瀬 東一



理事  
豊島 晴紀



理事  
猪股 長一



理事  
荘司 範彦



理事  
岡見 晃一



理事  
斎藤惣一郎



理事  
伊藤 修二



理事  
鈴木 敏規



理事  
堀川 悌二



理事  
佐藤 健一



理事  
小松 貢



理事  
加藤 勲



理事  
熊谷 典夫



監事  
加藤 進



監事  
加藤 貞藏



代表監事  
村上佐左衛門



## 林業相談を紹介します

今年も林業・樹木などに関する多くの相談が寄せられ、堀江専任指導員や三浦相談員が対応しました。その幾つかを紹介いたします。

Q・間伐を実施して数年経ったら樹幹に脇芽が出てきた。これを切り取ってもよいか。

A・これは、不定芽といって付けておけば枝・節となるので見つけたらすぐに取り除くように。

Q・夏の暑さに下刈りをできずに終わった。先日山に行ってみたら下草がボウボウと伸びていた。刈り込んできれいにしたいがどうか。

A・猛暑の時には下刈りはやるべきではない。土壌の乾燥を助けることとなり樹木の成長にとっては害となる。秋（十月頃）になるので下刈りの本来の効果は望めないが、今後の作業がしやすくなるので、余裕があれば後の為に刈るのは良いのではないか。

Q・シイタケ・ナメコの原木について、だんだん手頃な太さの原木が少なくなってきたように感じる。自給自足を考えているが、萌芽更新のための伐採はいつ頃が良いか。

A・伐採するには、年間をとおして伐ることができるとが萌芽させるためには春伐と秋伐とがある。一般には、木の葉が紅葉した秋から落葉した十二月頃までが最適である。これは、伐り株に栄養が備蓄された状態で残されるからである。翌春には、この残された栄養で新しい芽を吹き出させ、元気な芽を数本残して仕立て上げることが大切である。

Q・サクラの植栽時期と肥料は何がよいか。

A・サクラの苗木は、関東方面から移送されてくると思っているので、乾燥を防止する意味で到着後速やかに植え付けること。このときには植え穴にたっぷり水

を入れ、土を少々入れて柔らかく練ること。苗木は1mから1m50cm位のときは芯止めをする。気温が高くなると新芽が噴きでているのでこの新芽を欠かないように注意すること。肥料は、マルモリ十一号（森林組合にあり）をバラマキする。

Q・山にも肥料をと、数年前には盛んに宣伝し使用されてきたように記憶している。最近ではスギ山に肥料を施すということがないように思う。なぜだろうか。また、使用するとすればどういうところにとどのよ

うな肥料がよいか。  
A・確かに一時盛んに使用されていた。このころの使用の目的は早期に林内をうつ閉させて下刈りの期間を短くし、少しでも労力を節約しようというねらいがあった。しかしながら、樹木は早期に大きくなるが材質の面では年輪幅が広すぎて軟弱なものとなり質的な面から敬遠されるようになったことが大きな要因として挙げられる。

肥料を散布するのは、樹木の成長の悪い所に施すのが一般的であるが、一回に全量を施すのでなく数回に分けて散布することが最も有効である。しかも山での場合は、斜面の上部に厚く下部には薄く施す。時期は雪解けが始まったら全量の半分を残りの半分の二分の一を梅雨どきに施し、様子を見ながら残量を散布する。森林組合では購買部門で取り扱っているため、担当に聞いて林齢にあう肥料を使用してください。

Q・「アオヤジロ」についての資料がほしい。

A・由利本荘地域における「アオヤジロ」に関する資料データはほとんど無いのが現状である。現物については五箇所ほどあるように聞いている。「アオヤジロ」は秋田スギの中で特に香りがよく、年輪が極めて密で酒樽の材料として優れた品種とされている。もともと、秋田スギの突然変異により生じたものと言われており、一般のスギのように自然交配での増殖は困難である。繁殖力が弱い性質のため今や幻の存在となっている。

## 理事会報告

### 第一回理事会

開催日/五月十七日(火)

報告事項

議案第一号

固定資産(木材乾燥貯蔵施設)の取得について

議案第二号

第十七回本組合通常総代会提出

議案九件について

### 第二回理事会

開催日/六月二十七日(月)

報告事項

議案第一号

定期監査報告に対する回答(案)について

議案第二号

役員報酬の配分及び支払い期日について

議案第三号

役員退任慰労金の支給について

議案第四号

役員賠償責任保険加入について

議案第五号

夏期賞与支給について

# 森林所有者の皆様へ

?

集約化

森林施業  
プラン

間伐

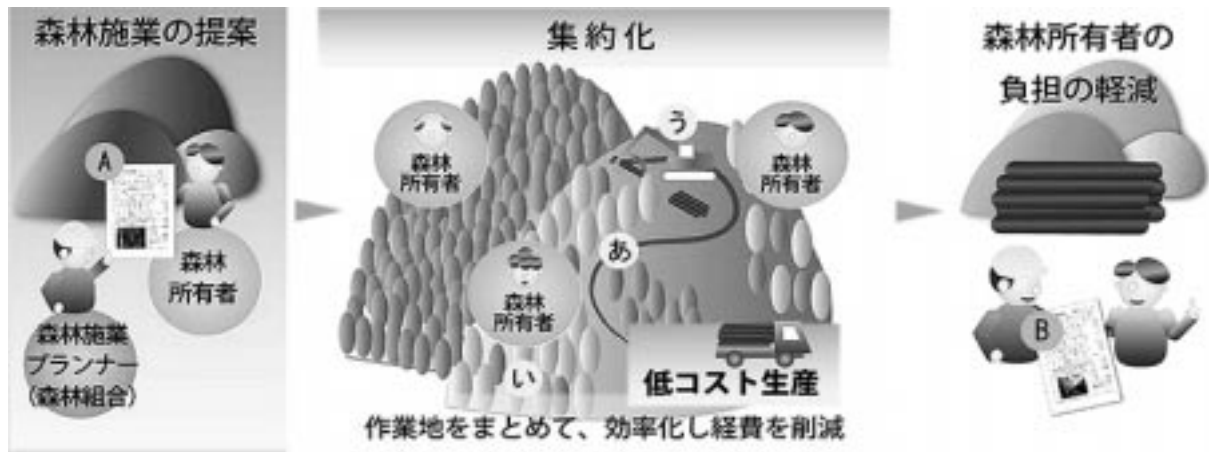
「山は持っているけど間伐などをするにはお金がかかるしな...」という話を聞きます。

小さい面積で間伐を行って間伐材を搬出した場合、コストも掛かり収益も上がりません。

そこで、何人かの森林をとりまとめて間伐を行うようにすれば、効率的に道（作業道）をつけたり、高性能林業機械を使えるようになって収益が上がりやすくなります。これを施業の集約化と言います。

集約化を行うときのまとめ役は森林組合が行います。その際、森林組合が森林所有者に対し、間伐に必要な経費や木材の販売見込額などを明らかにした「森林施業プラン」を提示し、森林所有者の皆様にも分かりやすい形で作業を行っています。

## 施業集約化の流れ



このように、複数の森林所有者の隣接する林地をとりまとめ、知識と技術を活かして一体的に施業を行うことを「集約化施業」と言います。また、そのためには、森林所有者に分かりやすく森林施業の“提案”を行うことも必須ですので、合わせて「提案型集約化施業」と呼びます。

### 第三回理事会

開催日 九月二十七日（火）

報告事項

議案第一号

常例検査報告に対する回答（案）  
について

議案第二号

理事と組合との契約に関する専  
決処分の報告及び承認について  
議案第三号  
出資口数の減少について

### 第四回理事会

開催日 十二月七日（水）

報告事項

議案第一号

諸手数料等並びに事業執行に関  
する細則の一部改正について  
議案第二号

理事と組合との契約に関する専  
決処分の報告及び承認について  
議案第三号

年末賞与支給について

協議事項

森林整備加速化・林業再生事業  
の要望について

# 木材市況情報 (平成23年)

単位：円、上段（石当り価格）  
下段 m<sup>3</sup>当り価格

樹種	材長 m	径級 cm	11月4日			12月2日		
			本荘由利木材流通センター			本荘由利木材流通センター		
			高値	安値	平均価格	高値	安値	平均価格
スギ	3.65	16~22	(2,926) 10,537	(2,650) 9,541	(2,819) 10,151	(2,980) 10,729	(2,766) 9,960	(2,878) 10,362
		24~34	(3,859) 13,895	(3,001) 10,805	(3,331) 11,995	(3,873) 13,946	(2,645) 9,523	(3,404) 12,255
出材量・販売量・販売率			1,204m <sup>3</sup> (4,334石)・1,099m <sup>3</sup> (3,956石)・91%			1,055m <sup>3</sup> (3,798石)・1,055m <sup>3</sup> (3,798石)・100%		

11月：ほとんどを県外勢にさらわれた形となり、やや強含みでほぼ完売。材質に応じた取引となった。  
12月：県内各センター、他の民間市場の出品とも少ないため、高落札率となり、引き合いが強くなった。

屋内



外観



**木材乾燥貯蔵  
施設完成**  
西目製材工場敷地内に、新たに木材乾燥貯蔵施設が完成しました。

## 《 広報86号の記事について 》

平成23年11月30日付発行の「組合だより86号」内で訂正箇所がありますのでお知らせします。

訂正箇所

5ページ「森林組合大会」受賞者紹介

訂正前	訂正後
武田 恵巳	武田 恵

## 仁賀保地区組合員研修

開催日.....12月16日(金)

参加組合員数.....16名

にかほ市小台野団地(提案型施行集約地)視察の予定でしたが、大雪のため西目センターにて集約化などの説明を受けました。



**お知らせ**

年末年始休業は、次のとおりとなります。

**十二月三十一日(土)**

**一月五日(木)**

尚、一月六日(金)から通常業務となります。



## 今後の行事予定

林業相談日

一月十三日(金)

一月二十日(金)

地区座談会

二月上旬

造林コンクール表彰式

及び林業講演会

二月二十三日(木)